

# みんなの議会 おおさと

NO.213

令和6年2月1日

定例会

12月 3月

9月 6月

町花：つつじ

想いをこめて

(趣味の会「フレンズ ママ」)

- P.2 特集 新成人との座談会
- P.4 小学6年生 議会を見学
- P.10 9名が町政を質す (一般質問)
- P.20 特別委員会を開催
- P.22 追跡レポート

# 二十歳 新成人との座談会 大郷町をこんな町に

令和5年12月7日、※成人式運営委員と「大郷町に思うこと」や「将来の夢」について座談会を行いました。

※民法上では2022年4月1日から成年年齢が18歳に変わりましたが、大郷町では20歳で成人式を行っています。



▲成人式の晴れ姿



医療機器を製造する仕事をしている。  
社会の役に立ちたい思いがあり、優しくて皆から慕われる「カッコいい」大人になりたい。  
高校の部活で帰宅が遅くなり、親に迎えに来てもらうことがあった。夜間の運行など、住民バスの本数を増やしてほしい。

専門学校に通学している。  
将来の夢は、海外で働きたい。コミュニケーション力を伸ばして、独立も考えたい。  
県道の交通量が増えている。東成田の丁字路交差点の信号機に右折矢印を追加してほしい。スマホ充電のサービスが利用できれば便利。公園を増やしてほしい。

仙台の女子大学で日本文学を専攻している。  
中学校の教員か、外国人に日本語を教える職に就きたい。人とのつながりを大切にしたい。  
住民バスは夜遅い時間の運行があればいいと思う。町民体育館の床の傷、隙間風が気になるので、安全に利用できるように整備してほしい。

建築の専門学校で学んでいる。  
将来は就職しながら一級建築士の資格を取りたいが難しいので勉強を頑張りたい。  
車を運転していると、大和町から大郷町に入るときに街の暗さを感じる。街灯が少ないので改善してほしい。早朝や夜間に歩行者の安全が気になる。

仙台市内で仕事をしている。昆虫の飼育が趣味で、ネットオークションでの販売も行った。将来は実店舗を開くことが夢。住民バスは日中の本数がもっとあればいいと感じている。夜遅くに食材の買い出しに困ることがあるので、大型のスーパーがあれば便利だと思う。

公務員を目指して専門学校で学んでいる。  
令和元年の大雨では近所が浸水する被害があった。将来は公務員として災害に負けない町づくりに取り組みたい。  
大郷町は自然がいっぱいで他市町村に負けていないと思う。高校への通学では住民バスを利用した。土日の運行を行ってほしい。



千葉 庸佑さん (社会人)



相澤 流奈さん (学生)



児玉 美翔さん (学生)



高橋 伶歩さん (学生)



富田 光翔さん (社会人)



豊田 那緒さん (学生)

仙石 開渡さん (社会人) 当日欠席

将来の夢・・・  
社会の一員として共生社会を目指していきたい。  
大郷町に思うこと・・・  
キャンプ場をつくってほしい。  
大郷の豊かな自然を生かすことができると思う。

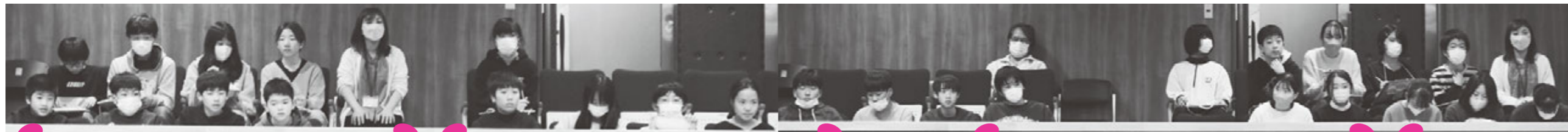




# 大郷小 6年生



## 定例会を 傍聴



大郷小学校の  
6年生61人が、  
一般質問の様子を  
見学しました。

まな  
高橋 茉愛さん(6年2組)  
私の住む町を有名に



私は役場にはたまに行くけれど、議会を見たことはなかったので、緊張しました。いざ傍聴席に入ると想像以上の緊張感があり、びっくりしました。質問をする人がしっかり自分の意見を持って発言していたのを見て、私は自分の意見を発言することが苦手なのですごいなと思いました。質問に対しての答えもしっかりと納得するようなことを言っていました。

こういう話し合いを通して、私たちが住む大郷町をもっといい町にしていこうとしているんだと感じました。一つ一つのことに皆さんが真剣に話を聞いたり、相づちを打ったりしているのを見て、話を聞くときの姿勢を改めて見直すことにつながりました。

議会をする部屋は、全体的に落ち着いた感じの色で、派手な感じではないことが分かりました。話す人はマイクを使ってはっきりと言っています。私は緊張すると早口になってしまい言葉に詰まることがあるので、はっきりと発言する議員さんたちを参考にしたいと思いました。休憩中、実際の議場にも入らせてもらいました。まさか本当に話し合いをしている所に行けるとは思っていなかったのですがびっくりしましたがうれしかったです。

これからも、私たちが住む大郷町をもっと、有名にするために、少しずつできることを頑張っています。

しょうま  
関 翔真さん(6年2組)  
自分の住む町が身近に



ぼくは議場見学をして、学んだことや考えたことがたくさんありました。一つ目は、議場の雰囲気です。議員さんたちは常に静かで、話し合いをしているときも緊張感がありました。見ているぼくたちも音を立ててはいけないような空気感でした。

二つ目は、話し合いです。質問する議員さんとそれに答える人は、何度も話し合いを繰り返して、そうして町の人のためになる政策ができていくんだと感じました。多くの時間を使って町のためになる考えを出しているの、すごいと思いました。特に、人口のことや施設のセキュリティなどの話を聞いて、とても勉強になりました。

三つ目は、議場の中です。議場はとても広くて、たくさんの席が並んでいました。中継するためのカメラやモニターもありました。議員さんの机には、資料が置いてあり、それを見ながら進んでいる様子がありました。ぼくたちは、傍聴席から議会の話し合いを見ていましたが、とても見やすかったです。

様々な役職の人が質問について説明をし、そのことから質問が出る。それが繰り返されて、町の人たちのためのよりよい政策がつけられているのだと学びました。

今回の議会見学を通して、ぼくたち6年生は、自分たちの住む大郷町をより身近に感じる事ができました。

あおい  
武田 和葵以さん(6年1組)  
議場は独特な雰囲気



初めて議会見学をして思ったことは、議場は、テレビで見る裁判の場所に似ているということです。とても独特な雰囲気がありました。議場の床は階段のようにだんだん高くなっていて、真ん中に女の子が二人向き合って座っていました。何をしているのか見えませんが、パソコンや見たことのない機械を使っていました。

一人の質問に対して一人が返答するというやり方で中には厳しい質問もあって、とても緊張感がありドキドキしました。質問する人は決まっています、答える人は二人いました。その他の議員さんは、真剣にメモを取ったり資料を確認していました。議場はしんと静かで、メモを取るときも音を出さないように気を付けました。なので、すごく神経を使いました。床がふかふかとしたカーペットになっているのは雑音が響かないようにするためだと考えました。

びっくりしたことは、答えを求められている人は、質問の内容をしっかり聞いて、すぐに返答していたことです。私も、先生や人の話をしているのを聞いて素早く答えを返せるように今のうちから頑張ろうと思いました。そして、たくさん手を挙げられる中学生になろうと思いました。

ゆう  
赤間 優さん(6年1組)  
大郷町がよりよい町に



ぼくが議場見学で学んだことや気づいたことは三つあります。一つ目は議員さんや答える人がしゃべるときのことです。口の近くにマイクがありしゃべっている人はマイクが赤く光っていました。議長だけはずっとマイクが光っていました。

二つ目は全員机の上に紙が置いてあることです。質問して答えているとき、いろいろな議員さんたちが紙に何かを書いたり、しゃべっている言葉を集中して聞いていたりしました。

三つ目は大郷町をよくするためにみんなで考えていたことです。台風19号が起きて吉田川が氾濫したのをきっかけに、災害に強い吉田川にしたいと田中中学町長が言っていたので、実現するのいいなと思いました。ぼくたちは今授業で大郷町のかわまちづくりについて考えています。

ぼくたちが考えたことと議員さんたちが話し合ったことが合わさって未来の大郷町がよりよい町になるといいなと思いました。

# 防災コミュニティセンター

## 5億4769万円に増額

当初予算3億3326万6千円で計上しましたが、入札不調になったため、物価高騰率と実勢単価をもとに当初予算との差額2億1542万4千円を増額補正しました。  
一般会計に3億3812万円を追加し、歳入歳出それぞれ65億3681万9千円となり、5 特別会計および水道事業会計の補正予算も原案どおり可決しました。

### 1030 保育施設災害復旧事業補助金 万円 すくすくゆめの郷こども園



**問** 町から無償譲渡したのに、なぜ修理代を支出するのか。

**答** 福島県沖地震の被災箇所はそのまま、行事などは町の施設に移動して行っている。子どもたちの精神的な負担を回避するために財政的な支援を行い、速やかな復旧を図る。

### 2億1542 防災コミュニティセンター建築工事 万円 (工事費増額分)



**問** 予算の根拠は。

**答** 実勢単価で見積もりを行い、インフレ率を考慮して1.3倍した金額である。

**問** 2階建てとする意味は。

**答** 変圧器を浸水から守るために2階に設置する計画である。また避難タワーとしての位置付けもある。

### 100 施設設備改修工事 万円 中学校 FF 式暖房機



**問** 工事の内容は。

**答** 大郷中学校に設置のFF式暖房機を更新する。基盤の不具合により修繕がきかない状態となっている。

### 6920 橋梁修繕工事 万円 成田橋床版



**問** 修繕の内容は。

**答** 成田橋の修繕で、当初は車が通る床版の一部修繕を計画していたが、全面打ち換えに変更となった。

## 議員発議の修正案を否決

### 討論

一般会計補正予算(第5号)

#### 原案賛成

鎌田 暁史 議員

#### 地元の声を尊重すべき

防災コミュニティセンター建設は中粕川地区の全体的声であり尊重すべきと考える。資材価格高騰は事実であり、実勢単価での見積もり対応による予算の増加は仕方がないことと思う。補正予算の計上にあたり、予算に不足が生じないようにする配慮については、やむを得ないことと考える。補正後に5億4769万円となった予算額について、その多くが国費と起債(過疎債)で賄われることに着目したいと思う。

今後、ほかの建設工事について予算の見積もりを行う場合は、より慎重に対応すること求めたいと思う。また、議会での議決が必要とならない5千万円以下の工事に関しても、より慎重な見積もり対応を求める。  
以上により、中粕川復興まちづくり事業の防災コミュニティセンター建設についての増額を含む、補正予算は原案のまま可決すべきと考える。

#### 提案理由

実勢単価で見直した金額4億2300万円と十分と考える。※スライド条項の付帯によりさらなる物価上昇があっても対応できる。焦らずしっかりと再度協議いただき、次回の予算へ計上していただければと思う。  
※工事の契約締結後に賃金または物価水準の変動により、請負代金額が不相当となったと認めるときに、受注者が請負代金額の変更を請求できる措置。

#### 原案賛成

金須 新一 議員

#### 事業の早期達成を望む声

公共施設等の建設では物価や人件費高騰により補正が必要となる事態が全国各地の自治体で発生し、大郷町に限ったことではない。地域住民の方から早期に事業を達成してほしいとの声を伺っており、原案に賛成する。

#### 原案賛成

石垣 正博 議員

#### 問題のない内容

予算に対する町からの持ち出しについては、何ら問題ない内容と感じる。

#### 原案賛成

高橋 重信 議員

#### 再入札を考慮

執行部では再び入札を行う観点で予算を組んだものと考えている。

# 物価高騰に対する生活支援

一般会計に7706万8千円を追加し、歳入歳出それぞれ66億1388万7千円となり、原案どおり可決しました。

## 補正予算 (第6号)

### 2423 商品券発行事業補助金 万円 おおさと生活応援商品券の発行

町民1人当たり3000円の商品券を発行する。

### 4525 価格高騰支援給付金 万円 電力・ガス・食料品等 価格高騰支援給付金

住民税非課税世帯・家計急変世帯が対象、1世帯当たり7万円。

議案採決結果一覧表

議案名(略称)			採決結果	赤間 繁幸	鎌田 暁史	鈴木 利博	赤間 則幸	佐々木 和夫	鈴木 恵子	金須 新一	田中 三恵子	熱海 文義	石垣 正博	高橋 重信	石川 良彦
報告第10号	専決処分の報告		報告のみ												
議案第69~75号、第85号			可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第76号	住民バス指定管理者の指定について		可	●	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○
修正動議	議案第76号(修正案)		否	○	●	●	●	●	●	●	●	○	●	●	○
議案第77号	財産の取得について		可	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第78号	一般会計(第5号)	65億3682万円(3億3812万円↑)	可	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	修正動議	一般会計(第5号)修正案	否	○	●	●	●	●	●	●	●	○	●	●	○
議案第79号	国民健康保険(第2号)	9億3995万円(43万円↑)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第80号	介護保険(第3号)	11億6065万円(330万円↑)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第81号	下水道事業(第3号)	2億5861万円(73万円↑)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第82号	農業集落排水事業(第2号)	7887万円(9万円↑)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第83号	戸別合併処理浄化槽(第2号)	8470万円(207万円↑)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第84号	水道事業会計(第2号)		可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第86号	一般会計(第6号)	66億1389万円(7707万円↑)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

(↑)は増額、(↓)は減額 可:可決 否:否決 ○:賛成 ●:反対 退:退席 欠:欠席  
 ※賛否同数でない限り、議長(石川良彦)は採決に加わらない

住民バス指定管理  
 「振興公社」に5年間委託

12月定例会  
 一般議案

**提案理由**  
 3年間でじっくり見直しを  
 かけ、次の更新もよければ指  
 定期間を決めればよい。  
 よって、指定の期間を3年  
 間とする。

**発議者** 熱海 文義議員  
 赤間 繁幸議員

**答** 振興公社が管理すること  
 によって、住民バスに係る安定  
 した行政サービスおよび事業  
 効果が相当程度期待できるこ  
 とから、5年間の長期間の設  
 定とした。

**【議案第76号】**  
**住民バス指定管理者の指定**  
 (株)おおさと地域振興公社に  
 指定、期間を5年間とした。  
 (令和6年4月1日から令和  
 11年3月31日まで)  
**問** 振興公社を指定管理者  
 とするのは問題ない。これま  
 の3年間ではなく、なぜ5  
 年としなくてはならないの  
 か。  
**答** 振興公社が管理すること  
 によって、住民バスに係る安定  
 した行政サービスおよび事業  
 効果が相当程度期待できるこ  
 とから、5年間の長期間の設  
 定とした。

**原案反対** 熱海 文義議員  
 車両の安全性に疑問を感じ  
 る。15人・26人乗りの車種に変  
 更することや、購入せずリース  
 することを提案する。

**【議案第77号】**  
**財産の取得**  
 契約名 住民バス車両購入  
 (2台)  
 契約方法 随意契約  
 金額 2186万7500円  
 相手方 三菱ふそうトラック・  
 バス株式会社東北ふそう仙台  
 支店  
**問** 取得する車両の安全性に  
 問題はないのか。  
**答** 数値で示されたものは確  
 認できていない。

～こんな研修がありました～

11/10 宮城黒川地方町村議会表彰式並びに議員  
 研修会

講演 議会力・議員力の発揮へ  
 「地方議会改革を実践する」  
 講師 寺島 渉氏  
 場所 宮城県自治会館



11/27 宮城県町村議会広報研究会

講演 「議会の見える化&住民との信頼関係  
 向上へ～議会広報の基本と編集～」  
 講師 議会広報サポーター 芳野 政明氏  
 場所 宮城県自治会館



12/19 黒川地方市町村議会議員研修会

講演 「人のご縁と等話(とうわ)で幸せを  
 生み出すまちづくり」  
 講師 尚綱学院大学 教授 松田 道雄氏  
 場所 大和町



**【議案第71号】**  
**議会議員の議員報酬および  
 費用弁償等に関する条例の一  
 部改正**  
 人事院勧告と法の一部改正  
 に伴い、期末手当を0・1か  
 月分引き上げ、年3・4か月  
 とする。

**【議案第72号】**  
**特別職の職員で常勤の者の  
 給与および旅費に関する条  
 例の一部改正**  
 議案第71号と同様の改正。

**【議案第70号】**  
**手数料徴収条例の一部改正**  
 コンビニ交付により住民票の  
 交付を受ける場合は、交付枚  
 数に関わらず1通につき200  
 円とする。  
 (令和6年4月1日から適用)

**【議案第74号】**  
**特定教育・保育施設および特  
 定地域型保育事業の運営に  
 関する基準を定める条例の一  
 部改正**  
 法律改正に伴い条例改正す  
 るもの。

**【議案第69号】**  
**印鑑登録および証明に関する  
 条例の一部改正**  
 マイナンバーカードを用い  
 て、コンビニエンスストア等に  
 設置している多機能端末機に  
 より、印鑑登録証明を受ける  
 ことができる。  
 (令和6年4月1日から適用)

**【議案第73号】**  
**職員の給与に関する条例の一  
 部改正**  
 人事院勧告と法の一部改正  
 に伴い、期末手当および勤勉  
 手当をそれぞれ0・05か月  
 引き上げ、年4・5か月とす  
 る。初任給をはじめ若年層に  
 重点を置き、平均0・96%  
 引き上げる。



# 災害に強いまちづくりを

## 流域水害対策計画に向けて検討(町長)

いしがき まさひろ  
石垣 正博 議員

**答 町長** 現在、令和6年度の流域水害対策計画に向けて検討中。策定後に広報紙・ホームページなどで周知を図る。メリットとしては、流域水害対策計画に基づき、浸水被害対策等が講じられることが考

**問** 吉田川・高城川が特定都市河川に指定された。河川整備が加速。ハード・ソフト面から、浸水対策の強化を図っていくもので、水災害を減少させていくものと考えられる。  
今後、水害の頻発・激甚化が予想される中において、本町が特定都市河川に指定を受けたことは、地域を水から守ることに對し、大いに期待される。  
このことについて、町民にどのような周知を図るのか、また指定を受けたことに対するメリット・デメリットは何か。

**答 総務課長** 特定都市河川は、国の法律に基づいて制定された。今後、県のタイアップでの色々な許認可も出てくる。現在、本町で条例制定は考えていない。  
**問** 特定都市河川流域に指定されると、雨水浸透阻害行為を行う場合は知事の許可が必要となる。以前の雨水流出量を超える場合に抑制する、雨水貯留浸透施設(例えば雨水タンクなど)の設置が義務となる。早急に条例なり要項が必要と考えるが、どのように進んでいるのか。



▲河道掘削が進む吉田川(粕川大橋側から)

**問** 設備の、更新整備を行っている。災害時に水を貯える遊水地を、整備する計画はないのか。

**答 町長** 町で得ている情報としては、吉田川の河川管理者である国が、現河川整備計画において、吉田川中流部に遊水地を新たに設置する計画となっている。

次ページから一般質問

# ただ 9名が町政を質す!



質問議員	質問内容	掲載ページ
石垣 正博 議員	1. 災害に強いまちづくりを	P11
鎌田 暁史 議員	1. 町営住宅入居時の連帯保証人について 2. 町営住宅の家賃引き下げについて 3. スマートスポーツパーク構想について	P12
金須 新一 議員	1. 消防団員不足の対応について 2. 歴史民俗資料館の早期構築を	P13
鈴木 利博 議員	1. 中学校玄関のセキュリティを 2. 移住・定住のきっかけに 3. インボイス実施について	P14
鈴木 恵子 議員	1. 総合計画に係る住民意向調査の実施について	P15
佐々木 和夫 議員	1. かわまちづくり計画について 2. SSP計画について	P16
赤間 繁幸 議員	1. 宅地造成について 2. 「パストラル縁の郷」について	P17
田中 三恵子 議員	1. よりよい学校給食のために	P18
赤間 則幸 議員	1. 町の公共交通機関の見直しについて 2. 大郷町青年団について	P19



きす しんいち 議員  
金須 新一

## 消防団員不足の対応を

### 消防団と連携し加入促進を図る(町長)

**問** 全国的に消防団員のなり手不足による団員の減少や存続の危機を迫られている自治体が数多くあり、本町も同様の問題を抱えている。団員を確保するための取り組みは。

**答 町長** 広報紙やホームページでお知らせをし、消防団の幹部会議等で協議、検討を図っていく。

**問** 将来に向けて、条例の改正や各部の統廃合等を考えているか何う。

**答 町長** 各部の現状や課題等について消防団と協議し、慎重に判断していきたいと考えている。

**問** 役職ごとの年齢を考慮した、定年制を検討してはいかがか。

**答 総務課長** 若い団員が入団していない状況なので、消防団と協議し今後検討してい

## 町営住宅の家賃引き下げを

### 建物の経過年数も加味(町長)

**問** 町営住宅への入居時に連帯保証人を求めないようにすることを要望する。

**答 町長** 家賃債務の保証のみならず、実質的な緊急時の連絡先の確保も目的としているため、考えていない。

**問** 一般入居の入居収入基準は現行の月収15万8000円から改正前の20万円に戻すべきでは。

**答 町長** 公営住宅法施行令で参酌基準が規定されているが、現時点で需要と供給に乖離がないことから、参酌基準を入居収入基準としている。

**問** 町営住宅について、建物の経年劣化に対応した家賃の引き下げを要望する。

**答 町長** 家賃算定において、建物の経過年数も加味したものととなっているので理解願う。



かまだ あきふみ 議員  
鎌田 暁史

**問** 希望の丘団地は築23年が経過。経年劣化の実情についてご理解をいただき、家賃引き下げの検討を。

**答 地域整備課長** 入退去の際にそれなりの部分を修繕している。修理が必要な部分について家賃を下げることはできない。国から示されている家賃算定に基づいて家賃を決定しているので、ご理解を願う。

**スマートスポーツパーク構想**

**問** 2つの農業法人の誘致について何が障害なのか。

**答 町長** 既存施設の撤去方法などが確定されなければ、新規移転地への誘致は難しい状況であると法人側から伺っている。

**問** 誘致の目的は。

**答 復興推進課長** 本年度内ぐらいに既存施設の方向性が見えてくるとの話を法人から伺っている。それ以降に話があればありがたい。

**問** 事業地買収の見通しは。

**答 町長** 地権者へのアンケート結果では、事業に必要な一団のまとまった土地を確保できる可能性があるかと判断でき

### 一般質問

**問** 各部に配置されている可搬ポンプ等の更新計画や現状は。

**答 町長** 通常点検のほか、黒川消防本部立ち会いの下、資機材管理状況調査により、点検を実施している。更新については、耐用年数を考慮し必要な場合は、各部および行政区と協議し、更新していきたい。

**問** 歴史的遺産を一時的に旧大松沢小学校に保管しているが、物品はどれくらいあるか。また保存に適している環境なのか。

**答 教育長** 平成24年に旧大松沢小学校より移転している。展示ケースに収納してある土器・埴輪・仏像等30点、民具・農具等286点、遺跡より出土した遺物が、保存箱、段ボール等で126箱、文献等資料が60箱ある。保存に適した環境とは言えないが、専門家よりアドバイスを頂き、保存環境の改善を進めている。

### 歴史民俗資料館の早期構築を

**問** 現時点での歴史民俗資料館構想は。

**答 教育長** 具体的な構想はないが、中央公民館ロビー等を活用し、収蔵品の一部を展示する等資料の開示を図っていくたい。

**問** 構築した際に、支倉常長「終焉の地」とされる町として、彼の功績を伝えるものを活用して、展示してほしいと思うがいかがか。

**答 教育長** 当町が終焉の地と伝えられていることから、偉大な功績を伝承していく方針を考えている。



▲町営住宅入居者の負担軽減を

**問** 吉田川河道掘削の残土利用の方針、計画は。

**答 町長** 河道掘削は令和7年度まで実施される予定のため、令和6年度から2か年程度残土を受け入れられるかどうか検討中。

**問** 残土が利用できない場合、事業費のアップを心配する声がある。

**答 技監** 事業の実施が可能となった際に、土を受け入れられるように調整したい。

### 一般質問

### 一般質問



▲立ちあがろう町内の若者(総務省消防庁抜粋)



鈴木 恵子 議員

# 住民意向調査の実施は

## 多くの皆さんの意見を聴取する(町長)

**問** 先日の令和5年度地区懇談会において、今年度中に住民意向調査アンケートの実施があるとのことだが調査内容は前回に基づいたものなのか、追加調査項目はあるのか、内容や実施要綱について伺う。

**答 町長** 「回答者の方についての情報」「町のイメージや魅力」「町の現状と今後の取り組みについて」の設問、さらに、「現計画の基本項目」ごとの満足度や重要度も含め、アンケート調査を実施したいと考えている。

**問** 調査の時期と調査票の配布、回収の方法について伺う。

**答 町長** 無作為に抽出した1500名の方に、12月初旬に調査票を郵送し、12月中に回答いただけるよう、返信用封筒も同封することとしている。また、郵送だけでなく、ウェブに

# 中学校玄関のセキュリティを

## 電磁ロックでの施錠を検討(教育長)



**問** 過疎指定地域に認定されたからといい、不審者が入らないという確信はない。大郷中学校玄関外側のインターホンはモニター付きとし、職員室から電磁ロックの施錠・開錠をし、不審者の侵入を未然に防ぎ、安心・安全で学べるようにしてはみては。

**答 教育長** 不審者対応については、現在モニター付きインターホンに加え、電磁ロックでの施錠・開錠を小・中学校に設置するよう検討している。



鈴木 利博 議員

### 移住・定住のきっかけに

**問** 本町において、空き家バンクも、なかなか移住・定住につながらる登録数・物件が少なく、人口増加へ足踏み状態となっている。また、交流人口での人口増加にも疑問を感じる。

**答 町長** 移住・定住の足掛けとして、実際に本町で宿泊し、実際に生活してみる体験型の宿舎を建築し、交流人口ではなく、移住・定住する方の心をつかむようなことをしてみてもどうか。

**問** 移住・定住につなげるための移住体験については、宿泊施設を備える「縁の郷」を活用した取り組みや、民間事業者から施設利用の協力をいただきながら、本町の良さを知ってもらえるような仕組みづくりをしていければと考えているので、今のところ、町が主体になり新たな宿舎を建築することは考えていない。

### 一般質問

### インボイスの対応は

**問** 今年10月よりインボイス制度が実施され、該当する法人・個人の方がインボイス登録を行っている。インボイス制度実施への町としての関わりについて、町が発注する物販、委託工事等の事業取引に参入する免税業者への対応について、町としてどう考えているのか。

**答 町長** 町が代金を受け取る側となる取引の場合、支払う側となる事業者が仕入額控除を受けることができなくなるように、必要な会計ごとに税務署へ登録申請し、インボイスの対応を行っている。請求書等の記載項目に、登録番号や適用税率、消費税を加えて発行している。



▲みんなで創るまちづくり

### 一般質問





あか ま しげ ゆき  
赤間 繁幸 議員

# 宅地開発の考えは

## 中・長期視点で考えていく(町長)

**問** 本町が提供する宅地の魅力とは。

**答** まちづくり政策課長 仙台近郊でありながら、土地価格、固定資産税が安価で、自然と融合した広い土地が確保できるのが魅力。

**問** 宅地を開発する民間事業者へ補助金交付の考えは。

**答** まちづくり政策課長 今後の情勢を見ながら、必要と確認できれば、そのときはしっかりと検討していく。

**問** 空き家を解体し、その跡地で2棟の建売住宅が販売され、すでに完売しているが、このことをどう考えるか。

**答** まちづくり政策課長 住宅の需要があると考えるので、今後、空き地・空き家の有効活用をする手立てが必要になってくる。

**問** 空き家解体により、新たな宅地が生まれているが、町

# かわまちづくり・SSP計画は

## 各種調査を実施している(町長)

**問** 国の「かわまちづくり支援制度」に登録され、国の事業で吉田川河川敷掘削工事が進行中であるが、現在のかわまちづくり計画の進捗状況は。

**答** 町長 「かわまちづくり計画」の登録を受けて本事業が決定したことから、交流拠点施設の基本計画や河川敷に整備する施設の詳細設計などを実施していく予定である。

**問** 令和5年10月3日から6日まで地区懇談会が開催されたが参加された方々の意見をどう捉えたのか。

**答** 町長 「かわまちづくり計画」について「地域活性化や課題解決につなげていくのか」や「事業の継続的な実施が見込めるのか」等の意見をいただいた。意見等を真摯に受け止め、しっかりと地域住民、民間企業などと連携を図りながら事業を進めていく。



さ さ き かず お  
佐々木 和夫 議員

### SSP事業計画は

**問** 「かわまちづくり計画」は地域の「顔」、「誇り」となるような空間形成を目指すとしてあり、パークゴルフ場、キャンプ場等を整備する計画があるが年間の集客数や維持管理費についての計画は。

**答** 町長 パークゴルフ場は年間3万人、キャンプ場は年間千人を想定値としている。維持管理費については詳細設計を実施しながら検討を重ねていく。

**問** これまでの経過は。

**答** 町長 新たな産業を誘致する目標に向けた地域振興拠点計画を策定中で実現に向けた各種調査を実施している状況である。

**問** 具体的な内容については調査中ということであるが、議会に対して説明が不足していると考えるが。

**答** 町長 年内中の完了を目標に各種調査しており調査が完了次第説明する場を設ける予定である。

**問** 現在の計画の進捗状況および課題等は。

### 一般質問

### パストラル縁の郷の構想は

### 一般質問

**問** 山形県丹形町で実施している「解体後の2分の1以内で補助、住宅に関しては100万円、その他の附属建物に関しては30万円を限度」という補助金を参考にしているか。

**答** まちづくり政策課長 内容を確認し、参考にしている。

**問** パストラル縁の郷の構想を伺う。

**答** 町長 サテライトオフィスやアグリツーリズムを通じ、地域活性化や交流人口増加による移住・定住につなげていきたい。

**問** サテライトオフィス改修工事の進捗状況は。また、資材高騰の影響はないのか。

**答** 農政商工課長 現在設計が終わるところで、早速工事



▲完売した原団地(中村)



▲防災コミュニティセンター建設予定地と掘削作業中の吉田川河川敷

**問** 関係部署と各種法令手続きや土地所有者、耕作者などと土地利用について協議中である。事業推進にあたっては財政状況を勘案し、限られた財源の中で効果を発揮できる事業を形成できるかなどが大きな課題と考えている。



あかま のりゆき 議員  
**赤間 則幸**

## 住民バスにワゴン車採用を

### バスでないと不足が生じる(町長)

**問** 利用者が増える日が続くので、ふれあい号を8〜10人乗りに大きくしては

**答** 町長 ふれあい号は、高齢等により免許証を返納した者、家族の送迎ができない高齢者の外出支援である。元気な方は住民バスを、障害などにより1人で移動できない方は、社会福祉協議会が行っている福祉有償運送事業などを活用していただければと考えている。

**問** 運行委託業者から毎月報告をいただいているが、利用していない方々の意向については今後の運行形態の参考のために必要と思われるので、調査実施に向け検討する。

**答** 町長 町外に出ていく朝夕の路線は、バスでないと不足が生じるため、余剰分としてワゴン車を導入することは考えていない。

**問** 運行委託業者に確認したところ、利用者の希望が重なることで、申し込みをお断りする件数は月に1件程度であり、現在の車両で間に合うと考えている。

**問** 町として、青年団(若者たち)をどのように育てたいのか。

**答** 教育長 若者主導による自発的な取り組みに対する補助の増額を検討し、人材育成、交流の場の創出等を支援していきたく考えている。



たなか みえこ 議員  
**田中 三恵子**

## 魅力的な給食メニューを

### 今後も創意工夫をしていく(教育長)

**問** 給食当番のエプロンについて、保護者の負担軽減のため、ノーアイロン素材の給食着を購入してはどうか。

**答** 教育長 破損の状況に応じて更新している。

**問** 予算計上が必要なため質問したが、在庫品ほどの程度あるのか。

**答** 学校教育課長 小学校では約110着、中学校で40着使用。予備の数は確認していない。

**問** 次期購入の際は検討してはどうか。

**答** 学校教育課長 ノーアイロンタイプは若干高額となるので、財政課と相談し検討していきたい。

## 一般質問 楽しく魅力的な給食を

**問** 大郷の食材の魅力を子どもたちにもっと感じ、自慢してもらえよう、大郷みそカレー、大郷牛たんステーキ、枝豆ご飯といった大郷ならではのメニューなど、楽しく魅力的な給食メニュー提供回数を増やしてはどうか。

**答** 教育長 ひな祭り、端午の節句、七夕やクリスマスなどの四季折々のメニューに加え、地元食材を使用した大郷みそカレー、大郷牛井や新米、支倉長遣欧使節のスペイン風給食、卒業生のリクエスト給食や都道府県巡り給食など、限られた予算の中で工夫を凝らしている。今後も安心・安全で楽しく魅力的な給食メニューを提供できるよう創意工夫していく。



▲大郷牛井給食メニュー:テレビニュースで紹介



▲ふれあい号の利用推進を

## 青年団への支援を

**問** 町青年団の知名度が低い。知名度向上に対する活動は。

**答** 教育長 町の青年団は10名程度の若者が活動しており、チャリティーコンサートの開催、全国青年大会へ、黒川郡連合青年団として出場し、合唱の部で最優秀賞を受賞している。

**問** 青年団の位置付けは。

**答** 教育長 若者の獨創性、先進性のある意見は欠かせないものであると認識している。様々な分野においての積極的な参画を推進していきたい。

**問** 町として、青年団(若者たち)をどのように育てたいのか。

**答** 教育長 若者主導による自発的な取り組みに対する補助の増額を検討し、人材育成、交流の場の創出等を支援していきたく考えている。

**総務産業** 11月21~22日  
常任委員会

**新交通システムの導入を**



▲地域に根差した新交通システムを調査（秋田県三種町）

**【調査の概要】**

11月21日（火）、秋田県三種町役場において、「町民が安心して外出できる持続可能な公共交通」を目標に交通サービスの再編を始め、巡回バス・ふれあいバス・路線バスの運行について、22日（水）、秋田県羽後町役場において、「おでかけタクシー」、「おでかけバス」の運行について説明を受け調査した。

**意見**

1. 既存事業者「住民バス・ふれあい号・スクールバス」とお互いのできることに、相談・協議を行うことで協力体制を構築し費用対効果も含め検討されたい。
2. 町内をいくつかの運行エリアに分け、小回りの利くワゴン車等の運行システム（デマンド含む）も検討されたい。
3. ドライバー不足も深刻化しているなか、地域住民がドライバーとなる自家用有償旅客運送制度を採用するなど、新交通システム等の導入を図られたい。

次回は

**「工事(災害含む)の進捗状況について」**  
を調査します。

**教育民生** 11月16.21日  
常任委員会

**教育環境の充実を**



▲盛岡市役所での研修風景

**【調査の概要】**

11月16日（木）、役場3階第3委員会室において、教育長、学校教育課長より本町における教育環境の充実や対策の現状について、さらに21日（火）、岩手県盛岡市学校教育課および子ども青少年課より、不登校児童・生徒の対応と学童保育の現状について説明を受け調査した。

**意見**

**不登校児童・生徒の対応**

1. 未然防止に努め、不登校児童・生徒への対応や指導の在り方、未然防止方策の協議、各関係機関との情報共有を十分に図られたい。
2. 本町においても盛岡市で策定した「簡単に学校を休ませない」を基本とする不登校未然防止初期対応マニュアルを参考に、策定に向けた取り組みを確立されたい。
3. 在宅で生活している児童・生徒に向けた、ICT環境及びICT教材の整備等学習支援の推進を検討されたい。

**学童保育**

1. 引き続き学童教育支援員の確保、研修会参加等指導環境、処遇の充実に努められたい。
2. 学童保育をする中で、場合によっては低学年、高学年に振り分けた環境づくりや勉強と遊びを両立させる等児童の健全な育成を図られたい。

**スクールバスの運営**

1. 中学生の利用状況を精査し、中型バスにこだわることなく、ワゴン車を活用する等現状に適した対応を検討されたい。

**学力向上**

1. 学校が楽しいと感じられる環境や児童・生徒たちが夢に向かって進んでいける環境づくりを継続されたい。
2. 児童・生徒のやる気を引き出す等、先生方の指導力向上に向けた取り組みを図られたい。

次回は

**「生活環境について」**  
を調査します。

11月15日  
第2回

**きめ細かな調査と速やかな改革を  
議会改革調査特別委員会**

行政、政策など実務に関する業務内容について、各課の事務分掌・業務内容について理解を深めた。

11月28日  
第2回

**災害に負けないまちづくりを  
災害対策調査特別委員会**

現地視察による調査を実施した。また、復興推進課より以下の説明を受け調査を行った。

- 復興まちづくり事業の進捗状況
- 避難道路（兼用堤）
- 防災コミュニティセンター
- 地域活性化事業（かわまちづくり）
- 復興事業所要予算



▲現地調査（中粕川）

**議会の主な動き（10/1～12/31）**

月日	用務	月日	用務
10/1	大和駐屯地創立67周年記念行事 [大和町]	11/17	議員全員協議会・議会運営委員会
10/2	宮城県町村議会議長会新議員研修会 [仙台市]	11/20	宮城県町村議会議長会・県知事と町村議会正副議長との意見交換会 [仙台市]
10/11	広報広聴常任委員会	11/21	教育民生常任委員会視察研修 [岩手県盛岡市]
10/16	広報広聴常任委員会	11/21～22	総務産業常任委員会視察研修 [秋田県三種町・羽後町]
10/17	広報広聴常任委員会		議会運営委員会
10/18	仙台北部道路建設促進期成同盟会要望活動 [仙台市]	11/24	「大郷産牛肉を使用した学校給食」の試食会 [大郷中学校]
10/19	宮城黒川地方町村議会議長会臨時総会 [仙台市]	11/27	宮城県町村議会議長会広報研究会 [仙台市]
10/24	黒川地方市町村議会連絡協議会実行委員会・役員会 [大衡村]	11/28	災害対策調査特別委員会・広報広聴常任委員会 黒川地域行政事務組合議会運営協議会 [大和町]
10/25	教育民生常任委員会		
10/26	黒川地域行政事務組合新組会議員事務事業説明会及び施設視察 [大和町]	11/29	本県関係国会議員に対する要請活動並びに意見交換会 [東京都]
10/28	おおさと秋まつり（10/28、11/3）	11/29～30	全国町村議会議長会主催町村議会議長全国大会 [東京都]
10/30	黒川地域行政事務組合議会運営協議会・臨時会 [大和町]	12/1～6	第4回定例会
10/30～31	宮城黒川地方町村議会議長会正副議長・事務局長合同視察研修 [福島県西会津町・小野町]	12/1	議員全員協議会・議会運営委員会
		12/7	広報広聴常任委員会（新成人との座談会）
11/1	江合・鳴瀬・吉田川水系改修促進期成同盟会地方要望会 [仙台市]	12/19	黒川地方市町村議会議員研修会 [大和町]
11/10	宮城黒川地方町村議会議長会表彰式・議員研修会 [仙台市]	12/21	宮城黒川地方町長・議長懇話会 [松島町]
11/15	議会改革調査特別委員会	12/22	黒川地域行政事務組合議会定例会
11/16	教育民生常任委員会	12/25	広報広聴常任委員会

特別委員会

町民皆様には、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また平素より議会活動に對しまして、特段のご理解とご協力を賜り、衷心より感謝と御礼を申し上げます。

昨年は長期化の新型コロナ禍の中、異常気象により全国的に猛暑が続くとともに、各地で豪雨災害が頻発。本年の年始には能登半島地震により甚大な被害が発生しました。被災された多くの方々に対し、心よりお見舞いを申し上げます。

必ずやつくる自然大災害対策や加速する少子高齢化・人口減少問題、急激な物価高騰対策など、現下の社会情勢はますます厳しくなってきました。これまで以上の創造的かつ効果的施策の推進を図ることが求められています。

この変革の時代に、二代表制の一翼を担う議会としての責務と役割を果たすべく取り組んでまいりますので、皆様の一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

結びに、本年が良き年となりますように願いますとともに、議員一同、町民皆様のご健勝、ご多幸をお祈り申し上げます。



大郷町議会議長  
いしかわ よし ひこ  
石川 良彦

創造的・効果的施策の推進を



本年もよろしくお願いたします

定例会年間予定表

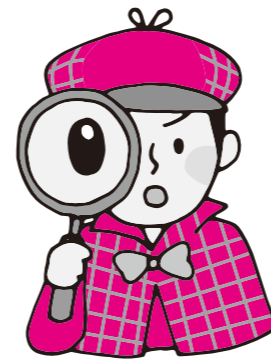
定例会	期間	会期日数
令和6年 第1回定例会	令和6年3月4日(月)～19日(火)	16日
令和6年 第2回定例会	令和6年6月4日(火)～7日(金)	4日
令和6年 第3回定例会	令和6年9月4日(水)～20日(金)	17日
令和6年 第4回定例会	令和6年12月3日(火)～6日(金)	4日
令和7年 第1回定例会	令和7年3月4日(火)～19日(水)	16日

※定例会の会期は都合により変更になることがあります。  
※土曜日、日曜日及び休日は休会となります。

その後どうなった…

第89回

追跡リポート Tracking Report



防災マップの見直しを

【これまでの意見・提言等】

・安心安全な防災体制の強化が求められる中、現在の防災マップで対応は十分なのか。また、見直す考えはあるのか。  
(平成30年第3回定例会 一般質問より)

【総務課】

現在の防災ハザードマップは、県管理河川の浸水想定区域は表示されておりません。また吉田川においても、上流で国が整備を進めている遊水地が完成すると、町内の浸水区域が変更となる可能性があります。そういった最新の情報を表示するため、国や県と調整、協議を行いながら、防災ハザードマップの早期更新を進めてまいります。  
(議会広報197号 追跡リポートより)

その後の対応と今後の計画

吉田川及び高城川が特定都市河川に指定されたことに伴う、吉田川及び高城川流域における水害対策事業の影響に於いて防災ハザードマップの更新を進めてまいります。また、県管理河川の味明川については、令和6年5月に浸水想定区域図が公表される予定となっておりますが、滑川については県において現在においても精査中であることから、県と引き続き協議を行っていき、適当な時期に更新を進めてまいります。

総務課



▲洪水浸水想定区域図が公表予定の「味明川」

認知症の対策を

【これまでの意見・提言等】

・令和2年6月委員会調査報告より  
・令和3年6月委員会調査報告より

【保健福祉課】

認知症への理解を促すための情報提供を行うなど、早期に認知症に気づく機会を提供しています。認知症やその原因となる脳血管疾患などの早期発見・治療のために、脳健診の受診助成事業を実施しています。また、認知機能に関する問診項目を追加し、その機能の維持・向上を図る保健事業を検討しています。  
(議会広報205号 追跡リポートより)

その後の対応と今後の計画

令和4年度および5年度の認知症対策事業実績としては、認知症サポーター講座の開催や、認知症についての理解を深めるための取り組みや介護のお役立ち情報を掲載した「オレンジ新聞」の発行など認知症対策の周知に努めています。また、健診関係では、脳健診助成で令和4年度は57件、5年度は30件(11月末現在)の助成実績があり、後期高齢者健診では認知機能に係る問診項目を設け、フレイル予防対策に役立てています。

今後も介護予防と保健事業を包括的に取り組み、認知症対策を進めていきます。

保健福祉課



▲体操でいつまでも元気に

# クラフトテープ創作 趣味の会「フレンズ ママ」

・見本を見ながら一生懸命作ること、出来上がりが大変楽しみです。

・月2回の集まりでコミュニケーションが深まり、とても楽しいです。

・手を動かすこと、また材料を使うのに簡単な計算をしますので、認知症予防対策になります。

**クラフトテープ 創作の魅力は？**

会員12名で活動を始めて5年目。クラフトテープを用いて、季節に合わせたクリスマス・お正月・ひな祭り・鯉のぼり・干支などを創作しています。作品は「ふるさとプラザ物産館」で、展示、販売を行っています。

指導者  
千葉 恵さん (山崎)

指導者  
武田 しづ子さん (山崎)

**今後の目標**

クラフトテープ創作を通して人の輪を広げること。  
全員が女性なので、男性・親子の会員募集中。

**活動内容**

材料代 700円  
会費(月) 1400円

第1、第3土曜日10時~12時  
物産館2階和室にて開催。  
※農繁期、雨季などには、日時・場所の変更があるため、参加希望の方は、事前にお問い合わせください。



**町への要望**

・物産館の階段の段差が高く、上るのに大変。特に材料などを運ぶのにエレベーターが欲しい(現在使えない)。  
・道の駅駐車場の動線が分かりにくく危険なので、改善してほしい。

**広報広聴常任委員会**

委員長	高橋 重信
副委員長	石垣 正博
委員	鎌田 暁史
	鈴木 利博
	赤間 則幸
	金須 新一

**編集後記**

夏の暑さを厳しく感じているなら、一気に気温が下がり冬が到来。  
そんな中であって、8月に議会議員の選挙が執り行われた。定数2名減の12名体制となり、8名の新議員が誕生。常任委員会・種々の特別委員会・行事などに参加し、元気に前向きに取り組んでいます。  
さて、働き方改革関連法により、物流業界はドライバー不足など様々な問題が出てくる。また次の年には、超高齢化社会を迎え、行政の課題も多くなる。  
議会は、与えられた役割を全うし、安全・安心なまちづくりに全員一丸となって取り組んでまいります。

石垣 正博

**お詫び**

212号に掲載した記事に誤りがありました。内容を訂正し、お詫び申し上げます。

P14 ※敬称略  
正 農業委員会委員  
あかま てるゆき  
赤間 輝行(長崎)

選挙管理委員補充員  
ちさか たかとし  
千坂 卓俊

**次回定例会**

3月4日(月)から3月19日(火)まで  
午前10時~

ライブ中継と録画を動画サイト「YouTube(ユーチューブ)」にて配信しています。  
右記のQRコードよりご覧いただけます。